

議員提出議案第8号

全国に影響を与えている対外的なシステムにWeb標準仕様への
準拠を求める意見書案

本案を別紙のとおり提出する。

平成31年3月13日

大阪市会議長 角谷庄一様

提出者

大内啓治	辻淳子	山下昌彦	ホンダリエ
大橋一隆	竹下隆	守島正	丹野壮治
藤田あきら	高見亮	木下誠	田辺信広
徳田勝	杉山幹人	東貴之	広田和美
井戸正利	片山一步	出雲輝英	杉村幸太郎
伊藤良夏	市位謙太	飯田哲史	上田智隆
不破忠幸	奥野康俊	金子恵美	佐々木りえ
藤岡寛和	宮脇希	岡田妥知	高山美佳

(別紙)

平成31年3月 日

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 総務大臣 } 各あて
国土交通大臣

大阪市会議長 角谷庄一

全国に影響を与えている対外的なシステムにWeb標準仕様への
準拠を求める意見書

大阪市では、市民や民間企業に向けた対外的なシステムにおいては特定の環境（OS・ブラウザなど）に依存することなく、Web標準仕様に準拠した環境での動作を保証することで、利用者に対して特定の環境を用意させることのないよう取り組みを進めているものの、現在、Web標準仕様に準拠していないシステムを1つ残している。

その特定の環境を求めている唯一のシステムが「電子入札システム」であり、このシステムを構成するベースシステムとなっている「電子入札コアシステム」そのものが特定の環境に依存している（Windows 7, 8.1, 10 / Internet Explorer 11 という環境下でのみ動作する）。

「電子入札コアシステム」は全ての都道府県と全ての政令指定都市をはじめ、ほとんどの市町村が利用しているため、この電子入札コアシステムの環境依存が改善されない限り、全国の利用者に対して特定の環境を求め続けることになる。

こうした中、昨年7月「電子入札コアシステム」が依存しているブラウザであるInternet Explorerの開発元であるMicrosoft社が自ら、現在のWebアプリケーションがInternet Explorer固有の機能に依存している状態であれば、そうした依存性を無くし、Web標準仕様に準拠した最新のブラウザ（Microsoft社自身も、EdgeというWeb標準仕様に準拠した別のブラウザを開発済）で閲覧できるように見直すべきであるという旨のメッセージを公表し、Microsoft社において当面はInternet Explorerのサポートを継続する意思はあるものの、Web標準仕様への移行を強く求めている。

そもそも国や自治体が対外的に提供しているシステムが、特定の企業が提供する製品環

境に依存し続けること自体が適切でない上、利用者のためにも、特定の環境下でしか動作しないという状況を改善すべきである。

この「電子入札コアシステム」は元々、国土交通省が無償公開したものがベースとなっており、開発及び改良するための仕様検討や開発及び改良成果の検証並びに運用支援に関する検討は現在、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」が担っている。

よって国におかれては、「電子入札コアシステム」の開発・普及を推進してきた立場から、同開発コンソーシアムに対し、「電子入札コアシステム」をWeb標準仕様に準拠したシステムに再構築するよう指導することを強く要望するとともに、その他のシステムでも同様の状況を確認次第、速やかに対応されることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。